

白神プロジェクト

令和7年度 地域を支える人材育成事業「地域連携強化事業」

本校は、秋田県側の学校としては、世界自然遺産「白神山地」に最も近い高校である。特色ある学校づくりを目指して「白神プロジェクト」と、という取り組みをおこなっている。

プロジェクトの目標

世界自然遺産「白神山地」の魅力を広く伝えることができる生徒を育成することに加え他の世界遺産についても学習することにより、自然と環境、平和と人権に対する関心を高め、自然を守る気持ちや、国際理解を深める。

主な活動内容

- ① 招へい講座・・・大学教員など白神山地に関する専門家、写真家、山岳愛好家等の外部講師による講演。
- ② フィールドワーク・・・実際に白神山地に入り、体験・見学を行う。今年度は1, 3年生は植樹、白神世界遺産センターの見学、仁鮎水沢杉観察林の散策。2年生は岩館ジオパーク、椿海岸、白瀑神社の見学、留山散策を予定している。
- ③ フィールドワーク発表会・・・フィールドワークで学んだ事を、レポートにまとめて生徒がそれぞれ発表する。
- ④ 白神フォトコンテスト・・・生徒たちがフィールドワークで撮影した写真の中から選ばれる。二ツ井キャンパス祭と二ツ井公民館祭りで公開される。尚、受賞作品は年間を通して渡り廊下に掲示される。



白神招へい講座 講演者は白神世界遺産センター藤里館 自然アドバイザー 白鳥万里さん



白神フィールドワーク 植樹



留山散策



白神フォトコンテスト



このプロジェクトを通して、生徒たちが白神山地に関する知識や愛着を深めることはもちろんのこと、人の話を聴くこと、人に伝えること、読む人にわかりやすく書くことなどの言語活動によって、コミュニケーション能力の向上を図ること、そして卒業後、「秋田県で白神山地に一番近い高校で学んだ」ことを誇りに思い、自信をもって故郷や母校を発信できるようになることを期待している。